

アローライト

ラクラクシリーズ

直付型回転灯

取扱説明書

型式

ASG

ASGB

(ブザー付)

AMG

このたびは弊社アローライトをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、まずこの取扱説明書を最後までご覧になって、使用上の注意等十分ご理解頂き、性能が万全に発揮できる状態で、末永くご愛用ください。またいつでも読み返しできるよう大切に保管してください。

お願い

出荷に際しては、取扱説明書を含め充分なチェックをして万全を期しておりますが、万一ご使用中にご不審な点やお気づきのことがありましたら、お買い上げの販売店か、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

- ・寸法、仕様および構造は、今後改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本機の使用により生じた障害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。

概要

☆本機は、取付作業・結線作業の簡素化によるトータルコストパフォーマンスにすぐれた直付型回転灯です。工場設備を初め、店舗の装飾や広告看板との併設等、あらゆる場所に使用できます。

特長

☆差し込みコネクタの採用により、VVFケーブル（ $\phi 2$ 、 $\phi 1.6$ ）を使用の場合、本機との結線がワンタッチで行えます。

☆取付面に対して、その面の上側からの作業で取付、結線を行えます。

（但し、あらかじめ配線を引き込んでおく必要があります。）

目次

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 : ▲安全にお使いいただくために | 5 : 電球の交換方法 |
| 2 : 各部の名称 | 6 : 定格 |
| 3 : 取付方法および結線方法 | 7 : 外観図 |
| 4 : ブザー音の音量の調節および音色の切替方法 | 8 : 保守部品 |

1 ▲安全にお使いいただくために

本機のご使用前に、以下の『重要注意事項』をよくお読みいただき遵守してください。

▲注意：感電事故をさけるために

◎感電事故や内部回路破損による故障を避けるため、結線の際は必ず電源を切ってから行なってください。

注意：本機の故障をさけるために

◎本機を定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないこともありますので、定格表に記載されている範囲内で使用してください。

◎電球をはずした状態で使用しないでください。ソケット部にてショート恐れがあります。

◎本機の取付および結線方法につきましては、各項目に記載の注意事項等を遵守してください。

2 [各部の名称]

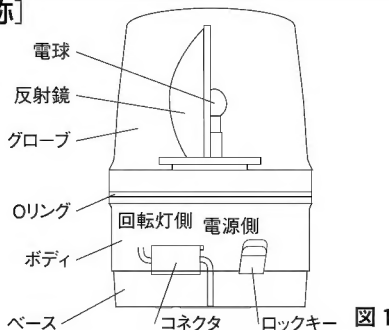
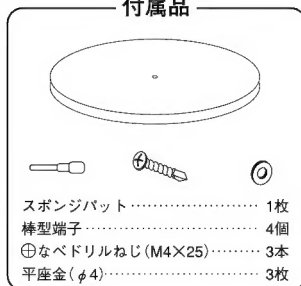


図 1

付属品



- | | |
|------------------|----|
| スポンジバット | 1枚 |
| 棒型端子 | 4個 |
| ⊕なベドリルねじ (M4×25) | 3本 |
| 平座金 ($\phi 4$) | 3枚 |

3 [取付方法および結線方法]

注意

- 定格に記された性能を満足させるため、本機は必ず正方向に取り付けてご使用ください。
 - 本機は正方向に取り付けた場合、屋外使用が可能ですが、温湿度の高い環境や腐食性ガスの発生する雰囲気、直接高圧の雨・水等のかかる場所には使用できません。故障の原因となります。
 - ベースの外周と取付面の隙間を防水シール剤等でコーキングしないでください。屋外で使用した場合、ベース内部に水が溜まり故障の原因となります。
 - 結線する前に使用電源電圧と本機に表示の電源電圧が一致していることをご確認ください。
 - 結線の際、感電事故を避けるために、必ず電源を切ってください。
 - 結線の際、感電事故や故障を避けるために、必ずコネクタを使用してください。(VVFケーブルφ1.6、φ2対応)
- また燃線を使用の場合は必ず付属の棒型端子で先端を圧着後コネクタに差し込んでください。
- 本機にはヒューズを内蔵しておりませんので、外部ヒューズ(消費電流の約10倍)を設けて結線してください。

・ 取り付けは、振動の少ない十分強度のある水平面を選んでください。

▽①ロックキーを手前に引き、②ボディを左へ回してはずしてください。

▽⑦の外観図および図2を参照して、電源線をあらかじめ取付面より引き込んでください。

▽③ベースを取付面に付属のドリルねじで取り付けてください。

取付面から下への水滴の浸入を防止する場合、付属のスポンジパットをご使用ください。

但し、ご使用ケーブルの種類によっては完全に防水できない場合がありますので、必要に応じて引き出しコードや取付ねじ部を防水シール剤でコーキングしてください。

▽④電源線を加工し、⑤ボディに備え付けてあるコネクタに挿し込んでください。

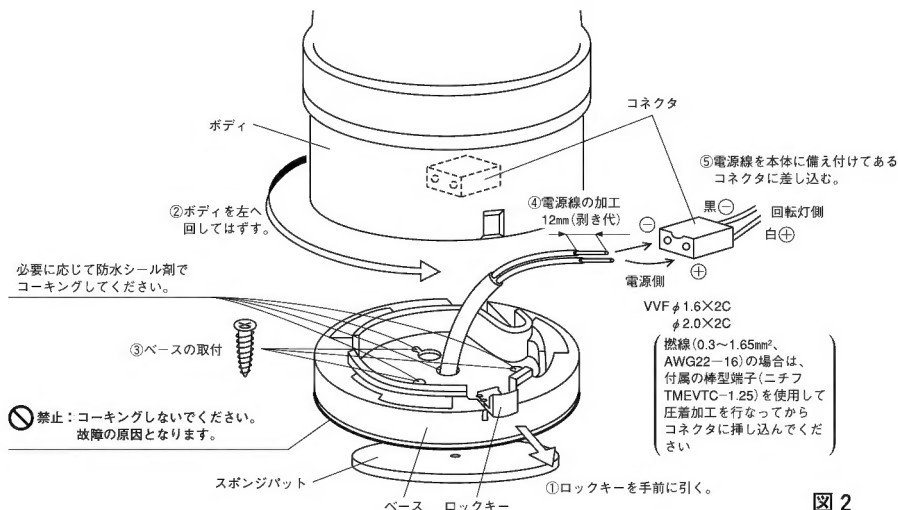


図2

▽ボディ裏側とベースにある矢印(⇒)を合わせて、ボディをベースに挿し込み、右へ止まるまで回します。最後にロッキーを押し込めば完了です。

▽電源を投入すれば動作します。ブザー音入り(ASGBタイプ)は、回転灯と連動してブザー音が吹鳴します。

4 [ブザー音の音量の調節および音色の切替方法(型式ASGBのみ)]

○音量の調節

注意

◎音量ボリュームを強く押ししたり、無理に回さないでください。ボリューム故障の原因となります。

音量ボリュームが内蔵されており、音量の調節が可能です。

▽グローブを左に回してはらずとシャーシ部に音量調節ボリュームがありますので、小型の⊖ドライバーで音量調節してください。(図3参照)

ボリュームは中央付近で音量が最大となります。なお、出荷時に音量は最大に設定してあります。音量の可変範囲は最大90dB～最小70dBです。但し、音量と共に周波数(音程)も変化します。

○音色の切替

音色切替スイッチにより音色の切替が可能です。

▽グローブを左に回してはらずとシャーシ部に音色切替スイッチがありますので、小型の⊖ドライバーの先等でスイッチを切替えてください。下記の音色が選択できます。

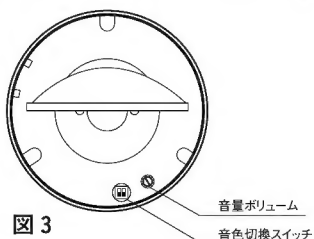
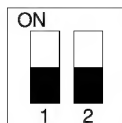


図 3

音色切替スイッチにより以下の音色が選択できます。



音色切替スイッチ (黒い部分が上)		音 色
1		断続音、ビブラート標準 (ビビビビ、ビビビビ)
2		連続音、ビブラート標準 (ビビビビビビビ)
3		断続音、ビブラート速い (ビー、ビー)
4		連続音、ビブラート速い (ビー)

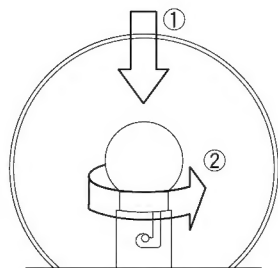
尚、出荷時には音色1(断続音、ビブラート標準)に設定してあります。

5 [電球の交換方法]

注意

- 電源を切ってから、下記の要領で交換してください。また、電源を切った直後、電球はかなり高温になっていますので、必ず電球が冷えてから作業してください。

- ・グローブを左に回してはずし、右図の要領で電球を交換してください。
- ・電球をお買い求めの際は、**[8]**の[保守部品]の項目を参照し、同一定格のものを販売店にてお買い求めください。



電球は押えて左へ回すとはずれます

図 4

6 [定格]

型 式	電 圧	消費電力	閃光速度	電子ブザー音 (ASGB)	電 球		製品質量		
ASG/ASGB-24 (R・Y・G・B)	AC/DC24V	12W	140min ⁻¹	連続音／断続音 設定可能 最大90dB (70～90dB可変可能)	G18,BA15S/19	24V 10W	0.5kg		
ASG/ASGB-100 (R・Y・G・B)	AC100V	7W				12V 5W	0.7kg		
ASG/ASGB-200 (R・Y・G・B)	AC200V	7W			——	RP35,BA15D/19	24V 35W	0.6kg	
AMG-24 (R・Y・G・B)	AC/DC24V	35W					120V 40W	0.8kg	
AMG-100 (R・Y・G・B)	AC100V	40W					220V 40W		
AMG-200 (R・Y・G・B)	AC200V	40W							

●環境仕様

使用電圧範囲	電源電圧の±10%
使用周囲温度	－10℃～50℃
使用周囲湿度	35%～85%RH（結露のないこと）
使用雰囲気	腐食性ガスのないこと

7 [外觀図]

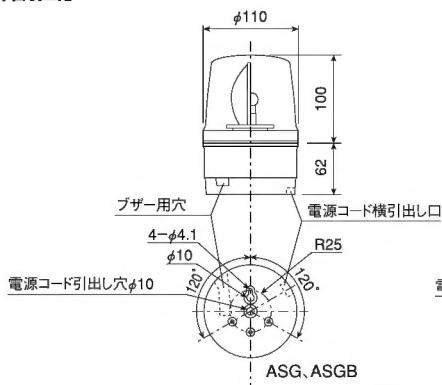


図 5

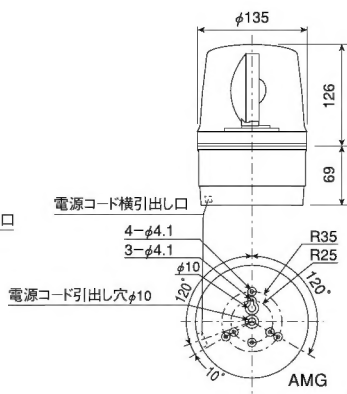


図 6

8 [保守部品]

●電球

ASG/ASGB用



ASG/ASGB ご使用電圧	電 球 型 式	
AC/DC24V	D07	AS LAMP 24V10W (G18,BA15S/19)
AC100V AC200V	DD64	AS LAMP 12V5W (G18,BA15S/19)

AMG用



AMG ご使用電圧	電 球 型 式	
AC/DC24V	D11	AL LAMP 24V35W (RP35,BA15S/19)
AC100V	D17	AL LAMP 120V40W (RP35,BA15D/19)
AC200V	D21	AL LAMP 220V40W (RP35,BA15D/19)

アロー株式会社
ARROW CO.,LTD.

<http://www.arrow-elec.co.jp>

本 社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3-30-20
 ☎ 06 (6961)-1333(代) FAX06 (6969)-0510
 仙台営業所 〒983-0005 仙台市宮城野区福室5-2-3
 ☎ 022 (786)-0278 FAX022 (259)-8884
 東京営業所 〒170-0012 東京都豊島区上池袋4-1-1-10F
 ☎ 03 (5907)-3230 FAX03 (5907)-3231
 神奈川営業所 〒226-0011 横浜市緑区中山町301-5-3F
 ☎ 045 (938)-0500 FAX045 (938)-0600

名古屋営業所 〒465-0093 名古屋市名東区一社3-105-1
 ☎ 052 (709)-5556 FAX052 (709)-5573
 大阪営業所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3-30-20
 ☎ 06 (6961)-0325 FAX06 (6961)-1199
 広島営業所 〒733-0005 広島市西区三滝町20-3-1F
 ☎ 082 (239)-7254 FAX082 (239)-7256
 福岡営業所 〒812-0894 福岡市博多区諸岡1-6-36
 ☎ 092 (574)-5446 FAX092 (574)-5450

AQT0180F